

各支部長 新春のご挨拶



旭川支部 支部長
佐藤 聡

皆様、新年あけましておめでとうございます。
本会、他支部の皆様、また事務局の方々には日頃より旭川支部へのご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

広範な地域の旭川支部は、6市30町4村という40もの地方自治体を抱え、おそらく面積においても日本一広い支部であると思います。海あり山あり、工業、農業、漁業、畜産・それぞれの地域性に富んでおり、実に素晴らしい支部であると自負しております。ただその分、支部会員が一体となって活動することの難しさや、行政書士不在地域への業務の対応などに苦慮することも多々あるのも実情です。このような地域性から、会員同士はもとより、各士業が日頃より連携し合うことの大切さを感じております。

旭川には六士業（弁護士、司法書士、税理士、社会保険労務士、土地家屋調査士、行政書士）の協議会である「六士会」というものがあり、毎年各士業の役員が集まって、様々な協議や懇親を行い、連帯や友情を深めております。昨年5月には、旭川市と六士会で、「災害時における相談業務の応援に関する協定」を締結しました。各種マスコミの取材・報道もあり、市民に注目されました。このような連携を通し、日頃の業務支援や紹介依頼など、市民への法的サービスにも寄与しております。

昨年に続き2回目となった児童図書の寄贈「たくまくん文庫」。本年度は、保育園に直接訪問しての贈呈式を行いました。約100名の児童が合唱を披露してくれたり、お礼に手作りのメダルを首に掛けてくれたりと、大いに盛り上がり、感動して思わず涙ぐむ理事もおりました。

また、毎年恒例の市民講座では、遺言・相続・成年後見に、昨年は「介護」もテーマに加え開催し、参加した65名の市民から好評をいただきました。

旭川支部は、研修会、無料相談会、市民講座、社会貢献活動、広報活動、行政・他団体との連携を軸に、本年も広い地域を走り回りながら頑張っております。

最後になりましたが、会員皆様のご多幸とご繁栄を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



網走支部 支部長
廣木 保博

新年明けましておめでとうございます。

会員のみなさまへ新年のご挨拶を申し上げるとともに、日頃より網走支部に対し数々のご支援を賜りましたことを、厚く御礼申し上げます。

新しい年となりましたが、北朝鮮問題や景気の先行き不安などの厳しい現状が相変わらず続いております。そういった不安が少しでも解消され、来たるべき平成の次の時代につながる充実した年になればと願うところです。

さて、網走支部におきましては、昨年4月の支部総会にはじまり、業務研修、無料相談会、ホームページの充実、支部だよりの発行、強調月間PR訪問等の業務を順調に行ってまいりました。中でも昨年10月に当支部網走市において開催させていただいた、道東四支部役員合同研修会には、各支部より多くの会員にご参加いただき誠にありがとうございました。

新米支部長ではありますが、これからも研修会と親睦活動に重点を置いて、支部の活性化に努めていく所存です。今後とも当支部運営に対しまして更なるご支援ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。